

# 磐城時報

三夕  
日刊  
編輯兼發行所 田田弘成  
印刷所 加納清房  
石城郡平野町平野十四  
福島縣石城郡平野町平野十四  
電話 一四四  
一、郵政特種郵便物  
二、郵政特種郵便物  
三、郵政特種郵便物  
四、郵政特種郵便物  
五、郵政特種郵便物  
六、郵政特種郵便物  
七、郵政特種郵便物  
八、郵政特種郵便物  
九、郵政特種郵便物  
十、郵政特種郵便物  
十一、郵政特種郵便物  
十二、郵政特種郵便物  
十三、郵政特種郵便物  
十四、郵政特種郵便物  
十五、郵政特種郵便物  
十六、郵政特種郵便物  
十七、郵政特種郵便物  
十八、郵政特種郵便物  
十九、郵政特種郵便物  
二十、郵政特種郵便物  
二十一日、郵政特種郵便物  
二十二、郵政特種郵便物  
二十三、郵政特種郵便物  
二十四、郵政特種郵便物  
二十五、郵政特種郵便物  
二十六、郵政特種郵便物  
二十七、郵政特種郵便物  
二十八、郵政特種郵便物  
二十九、郵政特種郵便物  
三十、郵政特種郵便物  
三十一、郵政特種郵便物  
三十二、郵政特種郵便物  
三十三、郵政特種郵便物  
三十四、郵政特種郵便物  
三十五、郵政特種郵便物  
三十六、郵政特種郵便物  
三十七、郵政特種郵便物  
三十八、郵政特種郵便物  
三十九、郵政特種郵便物  
四十、郵政特種郵便物  
四十一、郵政特種郵便物  
四十二、郵政特種郵便物  
四十三、郵政特種郵便物  
四十四、郵政特種郵便物  
四十五、郵政特種郵便物  
四十六、郵政特種郵便物  
四十七、郵政特種郵便物  
四十八、郵政特種郵便物  
四十九、郵政特種郵便物  
五十、郵政特種郵便物  
五十一、郵政特種郵便物  
五十二、郵政特種郵便物  
五十三、郵政特種郵便物  
五十四、郵政特種郵便物  
五十五、郵政特種郵便物  
五十六、郵政特種郵便物  
五十七、郵政特種郵便物  
五十八、郵政特種郵便物  
五十九、郵政特種郵便物  
六十、郵政特種郵便物  
六十一、郵政特種郵便物  
六十二、郵政特種郵便物  
六十三、郵政特種郵便物  
六十四、郵政特種郵便物  
六十五、郵政特種郵便物  
六十六、郵政特種郵便物  
六十七、郵政特種郵便物  
六十八、郵政特種郵便物  
六十九、郵政特種郵便物  
七十、郵政特種郵便物  
七十一、郵政特種郵便物  
七十二、郵政特種郵便物  
七十三、郵政特種郵便物  
七十四、郵政特種郵便物  
七十五、郵政特種郵便物  
七十六、郵政特種郵便物  
七十七、郵政特種郵便物  
七十八、郵政特種郵便物  
七十九、郵政特種郵便物  
八十、郵政特種郵便物  
八十一、郵政特種郵便物  
八十二、郵政特種郵便物  
八十三、郵政特種郵便物  
八十四、郵政特種郵便物  
八十五、郵政特種郵便物  
八十六、郵政特種郵便物  
八十七、郵政特種郵便物  
八十八、郵政特種郵便物  
八十九、郵政特種郵便物  
九十、郵政特種郵便物  
九十一、郵政特種郵便物  
九十二、郵政特種郵便物  
九十三、郵政特種郵便物  
九十四、郵政特種郵便物  
九十五、郵政特種郵便物  
九十六、郵政特種郵便物  
九十七、郵政特種郵便物  
九十八、郵政特種郵便物  
九十九、郵政特種郵便物  
一百、郵政特種郵便物

## 零下三十度の北満で

### 活躍する武装移民

本紙を通じて宜敷く……

甲高三郎君からの通信

昨年十月石城郡の志願者十二名中唯一人選ばれ縣下に於ける選抜者四十二名と共に滿洲武裝移民として渡滿した平町久保町豫備騎兵上等兵甲高三郎（二十七）君はその後元氣益々旺盛で北滿吉林省附近の警備に仕立てるが、本紙を通じ平町民諸君に宜敷く傳へて呉れと左の如き書状を寄せた。

光陰矢の如しとやら懐しい石城の地を皆様方の熱烈な送別を受けて渡滿して早くも二月半に成りました。故郷も今頃は大雪が降り、寒い事と思ひます。當北滿も今は零下二十八度あり随分寒う御座います。御座います。我等一同は元氣で北滿の警備に當つて居ります。御座います。四圍の關係より今迄は松花江沿岸の佳木斯に居りまして各營して居りましたが、先發隊をして一月十日頃任地に向ひ全員は三月十日の陸軍記念日を以て任地に出發早速共同宿舎を建築して開墾に従事する豫定です。昭和八年の秋迄には四百町歩を開墾し、同九年の秋迄には一人當畑五町歩、水田一町歩を完全に開墾して同年中に各々獨立家屋を建築して家族を呼寄せ獨立生活に入る豫定であります。移民團が日常は相互に目的遂行の爲め向ふ三ヶ年間酒、煙草、異性等は絶対に禁して國境の警備と國策の樹立に邁進する事に成つて居ります。幸ひ當福島小隊は各地の匪馬賊討伐にも一人の戦死傷者も無く元氣愈々旺盛であります。今後尚益々自重して皆様方の御期待に添ふ様努力致します。何卒貴紙を通じて郷里の皆様宜敷く。

一月一日 佳木斯にて 甲 高三郎

## 町村長會

終つて新年宴會

石城郡町村長會總會は十四日午前十時から平町役場に開き左記事項を協議したが、昭和八年度豫算は二千四百五十四圓で大体前年と大差なく、目新しい計劃もない。午後二時總會を終え三時から住吉屋本店に於て新年宴會を催はし散會した。

## 職員室に忍び込んで 校長の印を盗用

嘘偽の成績簿を作製 故遠藤助役家出の原因

既報平商業學校二年生故平町助役一同道場祭神に禮拜について役遠藤長誠氏長男一誠（一七）は鈴木乙次郎、赤津雪雲兩師範の一週間前平町播種小下宿屋大古式射禮に一同袴を正し來賓の和屋方を出かけたまま、行方不明射禮あり、中食後各選手廿射の結果平海町長鈴木乙次郎氏優勝と目下捜索中であるが、家出の原因を探索するに一誠は學校の成績不良のため親類の聲中校長橋本氏に成績表を見せるのが嫌に大膽にも商業學校職員室に忍び込み校長印鑑を盗用自製の成績簿を作成發覺をおそれて姿をかくしたものである。

## 仲ノ作漁港の位置 けふ縣廳で決定

問題の中之作漁港修築位置は農林省橋本技師が調査の上考慮中であつたが、意見決定したので土肥土木課長は招電によつて上京計を變更した折ち案とした模様である。

▲勿來弓道大會 大日 本弓道會勿來支部初射式優勝カッパ射會は八日午前十時より同町支部道場に開催、定刻來會に招き中之作とするか折戸とす

## 晴衣が欲しさに 十九娘が泥棒

平町研町鈴木眼科醫院四倉出張所入院患者内郷村松田ハル（十）は去る十二日夜隣室の患者から現金八圓入蓋口を窃取し四倉署に捕はれたが、取調べた處昨年暮縁談が整ひ輸入れました。晴衣が欲しいため悪心を起したと自白した。

## 小名濱町長

### 結局小野氏か

小名濱町鈴木榮氏は来る二十日午後十時から町會を開き町長選挙を行ふが、過般の町會協議で現町長小野晋平氏を後任町長に推薦し同氏の内諾を得て二三名の再選論者もあるが結局は同氏に落ちつくであらう。

## 金房村會

金房村會は一月十二日同村小學校講堂に開會組合及二三の議案を決議した。

## 大石良雄 揮毫の畫幅

福島縣小名濱町醬油醸造業岡山重喜氏方に大石内藏之助の描いた山水の畫に水戸黄門の七言絶句をせられた得難き名畫が家身佐藤少佐、高平村出身渡邊中實として秘藏されてあるが、右尉、元縣立馬相農學校配屬入谷町三八二松平頼千代（七八）其他の團體及一般町民は原町驛氏から譲り受けたもので歴史的に尊い研究史料になるものゝを表現した。

## 家庭の不和を悲觀し ダイナマイト自殺

湯本町字辰ノ口居住入山炭礦第言はれてゐる。向松平頼千代氏四坑坑夫岩間水一（二）は十三日水戸家の支藩松平大學家の人日午後八時半頃坑内で点火したで生母は明治維新の後傑勝安房ダイナマイトを懐中にして無慘の三女千代女であるといつてゐる。自殺の遂げた原因は家庭の不和である。

## 少年火防隊

石城郡關田勿來尋常小學校火防隊は尋五

員の手により整理掃除されるので一般では非常に喜んでゐる。川部村駐在所竣工 石城郡川部村駐在所竣工式は八日午前九時より同村小學校に開催、光玉組頭、兒玉新村長の報告、竣工功勞者組頭以下幹部十三名の表彰、植田柴田署長の挨拶、來賓の祝辭、演説等あつて閉會し回し風呂場、炊事場等は火防隊祝宴を張つた。

**\* 原町旭座便り**

相馬郡原町常設館日活旭座に於ては一月十三日より(白い姉)(腕一本)(源太郎時雨)を上映する。

**▲宮城縣人會總會**

一月十三日午後三時より相馬郡原町在住宮城縣人會は原町驛前いせや旅館に於て總會を兼ね新年宴會を開き會長其他役員の改選を行った。

**賀狀片々**

(三) あきらま生

雲を呼び霧を起しし夜あらしの過ぎしともなき海の朝映え

初なきや磯なれ松風うた拍子なみのつゝみに眠る朝日子初日の出金覆輪のおきのくも尙三猿文庫から四年にちなめる繪葉書も面白く。

高瀬勝男君から歳旦迎新として酉年に關する木版繪葉書も苦心のあががあざやかにうかがはれた。

(前略)身は浮舟の棹さしゆくへはいづくぞと今朝のニハトリにや悲痛になきやがった、ハテ夢見が惡るい、私の浮世もこの初日から……

こんな奇想天外のもあつた。以上兎に角にも和歌、俳句、川柳と何れも作家で賀狀に附記されてないのを何となく御遠慮がちでありものたりなきを感じられました。

終りに多幸なる迎春の慶びを申上る。妄言多謝  
美崎一郎  
元旦を塩屋岬の岩かげのてんま舟にも松かざりする。

**豫告中の發賣品は**

**満洲よせいん**

でした。御一人前……十五錢で満腹

**魚沼會堂**

電話六三三番

**かまぼこ**

**折詰仕出し**

御惣菜用さつま揚吉原揚

平町二丁目

藤市蒲鉾店  
電話三〇五番

**消費節約**

品質本位 家庭染料

**節約費**

平町一丁目  
特約店 大平や薬店  
電話四六二番

内科 小兒科 (入院應需)

藤沼醫院  
平町紺屋町  
電話平園五〇七番

**専門内科一般**

内科ハ何デモ診療致マス  
呼吸器病バカリデハアリマセン

平町南町六五改(電話一八二番)

川井内科診療所

醫學士 川井重之  
女醫 川井安子

世界の名湯國立療養所の所在地

別府の天然家庭温泉

**命の洗濯**

一、温まる事は天然温泉と變りません  
一、萬病に靈驗的効果のある天下の別府温泉を日常家庭で湯治の出来る重寶な家庭温泉  
一、従来の浴劑を斷然優越せる新發見劑  
一、石鹼の使用は出来る、白粉の伸を良くす、皮膚を美化する理想的浴劑

疲勞回復 健康増進の鍵  
病魔征服 傳染病豫防の武器

眞の温泉療法は一若葉の三四月から一夏に於て最有効な時期です、是非御試用願ひます。

六回分(二日使用) 十二日分) 五十圓  
十四回分(同) 廿八日分) 一〇〇圓  
三十四回分(同) 二月八日分) 二〇〇圓

平町四丁目

命の洗濯代理店 小野屋薬舗  
電話一四四番

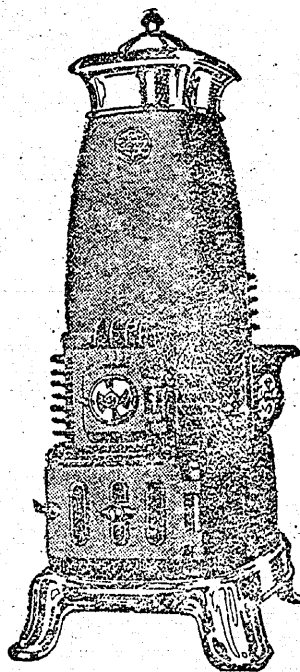
平町田町(電話五二三番)

**高久病院**

醫學士 高久忠  
新發醫學士 赤羽清  
藥劑士 佐竹菊雄

内科 小兒科 外科 花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

**嚴冬の征服者 福祿ストーブ**



四海は常春 電話三七番  
カタロク御申越下さい  
早速持參致します

福祿ストーブ 平停車場前  
福島縣一手販賣 阿部石炭店

**平看護婦會**

會長 清野キヨ  
平町字南町(電話三〇七番)  
看護婦派出の需めに應じます

**磐城共濟病院案内**

院長 醫學博士 石山謙郎  
自宅電話二二四番

内科	醫學博士 石山謙郎
小兒科	醫學博士 佐久間粹郎
外科	醫學博士 桂久重
耳鼻喉科	醫學士 馬重二
喉科	醫學士 五十嵐雄
皮膚科	醫學士 佐久間粹郎
産婦人科	醫學士 佐久間粹郎
X光線科	醫學博士 石山謙郎
衛生試驗所	技師 高石山謙郎
藥局	藥劑士 吉本孝平

◎診療時刻午前八時より午後五時迄  
但急患は此の限りに非ず

平町磐城共濟會  
電話六四一番